

No. 1049

モノ不足はアイデアで

消費文明から一転して節約時代へ。モノ不足がささやかれる今日、廃棄物を利用して店内装飾をしたレストランが新宿に出現した。「ドラムカウンター」「オートバイブル」と名付けられたドラムカン、こわれたテレビ、オートバイが所狭しと店内に並べられている。*ケチケチムードに便乗した。という支配人のアイデアに*若者向きでいいよ、発想がにくいネー。とお客にも好評。

神奈川県茅ヶ崎市に住む磯崎功さん(35歳)は身近にある廃品を利用して模型のS、Lや船を作る。*惜しげもなく物が捨てられる時代への抵抗。*が創造のきっかけ。*今の人は物をそまつにしすぎますよ。モノ不足なんてアイデア一つで解消できます。廃品を利用して作った豪華船を前に磯崎さんは言った。

倒産その後

昨年の暮れ倒産した東京富士運輸。残された従業員42人は組合をつくり未払い賃金確保のため、売り掛金をおさえたり、生活費の確保のためわずかに残った車を荷主の協力で動かしたり、カンパ活動に出かけたりしながら過ぎた2カ月。

しかし、売り掛金の回収もほぼ全部終わった時、組合大会の席上彼等の多くは止めたいと発言した。経済的にも自主運行だけでは42人の生活費を捻出することは不可能だった。2月16日、未払い賃金の約52%を支給した。そしてこの日多くが去っていった。それぞれの思いを残して。10人近くが最後迄残ることになった。なんとか社長をみつけない、謝罪させたいと願う彼等。社長の立ち寄りそうなところを毎日歩く。この東京の空の下でどこかに我々と同じ空気を吸って生きている。

社長を許せないという彼等。残った10人の活動は続く。何カ月先になるかわからない、組合解散の日まで。